2025 年日本不整脈心電学会/日本循環器学会 携帯型/ 装着型心電計の適切使用に関するコンセンサスステートメント 改訂箇所一覧

本ステートメントは 2025 年 3 月に一部改訂いたしました。改訂箇所は下記の通りです。

(2025 年 4 月 9 日作成)

該当箇所	改訂前	改訂後
タイトル	2024 年日本不整脈心電学会/日本循環器学会 携帯型/ 装着型心電計の適切使用に関するコンセンサスステートメント	2025 年 日本不整脈心電学会/日本循環器学会 携帯型/ 装着型心電計の適切使用に関するコンセンサスステートメント
276 頁 最終行	4 週間での診断率は失神が 24.5%, 動悸で 71.6%であった。	4 週間での診断率は失神が 24.5%, 動悸で 71.6%であった 6) 。
280 頁 表 2 JSR 社「解析」欄	② AI 解析 *	② AI 解析 (* を削除)
289 頁 上から 12 行目	API	Application Programming Interface (API)
289 頁 上から 13 行目	HL7	Health Level Seven (HL7)
290 頁 下から 5 行目	(薬生機審発 0929 第 1 号) など	(薬生機審発 0929 第 1 号) 103) など
291 頁 上から 7-8 行目	厚労省のガイドラインでも言及されている。	厚労省のガイドライン 47) でも言及されている。
292 頁 下から 15 行目	徐脈性不整脈 : 18.2%) であった。	徐脈性不整脈 : 18.2%) であった 54) 。
292 頁 下から 7 行目	ACC/AHA/HRS のガイドライン (2017)	American Colledge of Cardiology/American Heart Association/Heart Rhythm Society (ACC/AHA/HRS) のガイドライン (2017)
293 頁 表 6 容量単位	cc	mL
293 頁 上から 3-4 行目	無作為化比較試験である。	無作為化比較試験である 58) 。
293 頁 上から 5 行目	ILR 群で 12.4%であった。	ILR 群で 12.4%であった 58) 。
294 頁 上から 3 行目	陽性的中率は 95.3%と報告されている。	陽性的中率は 95.3%と報告されている 104) 。
294 頁 上から 5 行目	不適切検知を 45.8%削減している。	不適切検知を 45.8%削減している 105) 。
294 頁上から 10 行目	アルゴリズムが搭載されている。	アルゴリズムが搭載されている 106) 。
296 頁 図 6	※医薬品医療機器等法に基づいた保険償還されている心電計	医薬品医療機器等法に基づいた保険償還されている心電計 (※を削除)
296 頁 図 6	※医師による心電図波形確認	医師による心電図波形確認 (※を削除)

該当箇所	改訂前	改訂後
296 頁 図 6 タイトル	PPG を利用した各種携帯型/ 装着型心電計の役割と心房細動確定診断までの流れ	医師による PPG を利用した各種携帯型/ 装着型心電計の役割と心房細動確定診断までの流れ
296 頁 表 8	心房細動の検出とその精度	心房細動の検出 (「とその精度」を削除)
297 頁 上から 3 行目	心房細動の検出とその精度についてのコンセンサステートメントを示す (表 8) .	心房細動の検出についてのコンセンサステートメントを示す (表 8) . (「とその精度」を削除)
297 頁 表 9	心房細動以外の不整脈の検出とその精度	心房細動以外の不整脈の検出 (「とその精度」を削除)
297 頁 下から 10 行目	心房細動以外の不整脈の検出とその精度についてのコンセンサステートメントを示す (表 9) .	心房細動以外の不整脈の検出についてのコンセンサステートメントを示す (表 9) . (「とその精度」を削除)
299 頁 下から 8 行目	予知指標の活用性についてのコンセンサステートメントを示す (表 12) .	予知指標の活用 についてのコンセンサステートメントを示す (表 12) .
300 頁 表 12	予知指標の活用性	予知指標の活用
300 頁 表 12 上から 3 行目	心臓突然死の予知において, LP, TWA または HRT を NSVT と組み合わせて活用する.	心臓突然死の予知において, LP, TWA または HRT を NSVT と組み合わせて 評価 する.
文献 22, 30	-	Apple Inc. を記載いたしました。
文献 23, 31, 32	-	医薬品医療機器総合機構を記載いたしました。
文献 23	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/641002_30200BZI00020000_A_01_0	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/641002_30200BZI00020000_A_01_02
文献 31	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/641002_30200BZI00021000_A_02_02	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/641002_30200BZI00021000_A_02_03
文献 32	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/166359_30600BZI00010000_A_01_01	https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/kikiDetail/ResultDataSetPDF/166359_30600BZI00010000_A_01_02
文献 43	Chen Q, Bridges RA. Automated Behavioral Analysis of Malware : A Case Study of WannaCry Ransomware. 16th IEEE International Conference on Machine Learning and Applications (ICMLA) . 2017	Chen Q, Bridges RA. Automated Behavioral Analysis of Malware : A Case Study of WannaCry Ransomware. 16th IEEE International Conference on Machine Learning and Applications (ICMLA) . 2017 ; 454-460. doi : 10.1109/ICMLA.2017.0-119

該当箇所	改訂前	改訂後
URL 付きの文献	-	閲覧年月を記載いたしました。
(in Japanese) 付きの文献	-	(in Japanese) を削除いたしました。
文献 103~106	-	文献を追加いたしました。